

2 2 陳 情 第 1 9 号	新宿区立信濃町保育園分園の延長と対象年齢の引き上げに関する陳情
付 託 委 員 会	福祉健康委員会
受 理 及 び 付 託 年 月 日	平成22年6月15日受理、平成22年6月18日付託
陳 情 者	新宿区三栄町————— ————— 外119名

## ( 要 旨 )

「旧四谷第三小学校」に現在暫定的に開園されている信濃町保育園分園の廃園を見直し、現在のまま、運営していただけるようお願い申し上げます。

## ( 理 由 )

- 1 四谷地区再開発計画で、解体を予定されている「旧四谷第三小学校」内に暫定的に開園されている「信濃町保育園分園」は平成23年3月で廃園される予定です。廃園後の園児の受入先の一つとして、大京町の保育園が平成23年10月に新設され、この保育園へ入園を希望すれば平成23年9月まで「信濃町保育園分園」に通園できると言われております。しかし、通園するのは距離があり入園を断念せざるを得ない家庭もあります。既にほとんどの認可保育園は定員いっぱい、5月14日付の「認可保育園の申し込み状況一覧表」では、申込者数は354名と待機児童は増えており、この状況では入園の希望が持てません。
- 2 廃園後の受け皿として「大京町の保育園の新設」、「四谷保育園の拡充」で数字的にはカバーできると説明をうけておりましたが、待機児童増加傾向の中で問題を解決する1つの手段として、どうか、再開発計画を見直して「旧四谷第三小学校」の建物を解体せずに活用し、信濃町保育園分園の継続運営をお願い致します。
- 3 また、運良く、転園が叶ったとしても、小さな子どもたちにとって、また、保護者にとっても保育環境が変わることは、適応に時間がかかるなど不安があります。待機児童問題は数合わせでは通用しない、心理健康面の問題を常に抱えていることをご考慮ください。
- 4 「旧四谷第三小学校」の解体は、平成24年度中と聞いております。「信濃町保育園分園の廃園」については、少なくとも平成23年度中は利用可能ではないでしょう

か。

- 5 区は待機児童対策として、大京町の私立保育園の新設、四谷と東五軒町の保育園の拡充、保育ルームの設置などで対応するとしています。新しい施設を作ることは評価でき、感謝申し上げますが、一方で、信濃町保育園分園の廃園、戸山第三保育園の廃園なども同時に計画しています。流動する保育環境、社会情勢の中で、再開発の計画が以前からあったとしても、税金の無駄遣いにならないためにも再検討すべきではないでしょうか。
- 6 「旧四谷第三小学校」は、「平成 15 年に耐震工事を行い、築 30 年くらいの比較的新しい建物」と聞きました。また定員 81 名の四谷保育園仮園舎として冷暖房施設や仕切り、玄関の門、保育園用の小さなトイレなどの受入工事を施して現在ほぼ完成しております。仮園舎の利用期間平成 22 年度いっぱいの約半年です。これだけの機能とキャパシティをもつ優秀な建物を約半年近くしか使わないのはもったいないと思います。保育園機能だけに注目しても、丸ごと 2 つの保育園機能を持つ建物です。作った設備を生かすためにも少なくとも 23 年度いっぱい、就学前の子供を受け入れていただきたいと思います。
- 7 信濃町保育園分園には、地域の人たちから愛されている道路に面した小さな池、通称「四三リバー」があります。今はオタマジャクシやメダカが泳ぎ、保育園関係者以外の通行者と園児の貴重な交流の場となっています。また、園庭にはミカン、サクラの大樹やグミなどがあり、先生方が季節ごとに玄関の花壇造りをして花と緑豊かな環境を作ってくださいています。都心にありながら熱意ある職員の方に見守られ、素晴らしい自然環境に恵まれた「旧四谷第三小学校」と「信濃町保育園分園」をどうか最大限活用していただきたいと切にお願い申し上げます。